

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目	決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		生徒就学支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
37, 203, 000		36, 363, 973	0		839, 027		97. 7%	—
1 事業目的		生徒の保護者に対し、経済的な負担を軽減し、必要な支援を行うことで義務教育の円滑な実施が行えるようにする。						
2 事業内容		(1) 生徒就学援助 援助内容：学用品費、通学用品費、新入学準備費、校外活動費、修学旅行費、医療費、学校給食費 支給月：学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費は、年3回（8月、12月、3月）、新入学準備費は6月末日及び3月、4月、学校給食費は毎月、医療費は随時。 支給状況：要保護 3世帯 3人 164, 032円 準要保護 330世帯 387人 35, 640, 996円 合 計 333世帯 390人 35, 805, 028円 (2) 特別支援教育生徒就学奨励費 支給内容：学用品等購入費、新入学生徒学用品等、校外活動等参加費、修学旅行費、学校給食費（以上、保護者実費の1/2）及び通学費（保護者実費） 支給月：年3回（10月、1月、3月） 支給状況：対象生徒27人 支給者15人 558, 945円						
3 成果		・生徒の保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育が円滑に実施できた。 ・就学援助の新入学準備費の支給を、入学前の年度に支給することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。 ・特別支援教育を要する生徒の保護者への経済的負担を軽減することにより、就学の奨励を図ることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145	
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校コンピュータ教育推進事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
14,505,000		14,498,370		0		6,630		100.0%	—
1 事業目的		学習指導要領に基づき学校における情報教育の充実を図るとともに、生徒に情報教育をとおして情報機器の選択や活用できる資質、能力の育成を図ることを目的とする。							
2 事業内容		(1) コンピュータ教育のための機器等の保守等 各中学校のパソコン教室に設置しているパソコン等の保守 教師用パソコン等 4 台 生徒用パソコン 40 台 その他、サーバー等の機器							
3 成果		・各中学校でコンピュータを利用し、情報機器を活用する際に情報モラル等も学ぶことで情報教育の充実が図られた。							

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校図書館図書整備事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
5,458,000		5,445,277	0		12,723		99.8%	—
1 事業目的		生徒の豊かな人間性を育むために、読書活動の充実を図ることを目的とする。						
2 事業内容		(1) 学校図書館の図書や資料の充実 図書及び新聞等の購入 平成29年度図書購入数 2,427冊 平成29年度末学校図書館充足率 56.9% (2) 学校図書館システムの保守管理 学校図書館システム 各中学校に設置 学校図書館システム機器 パソコン、サーバー、プリンター						
3 成果		・生徒の本の貸出・返却手続きがスムーズになり、読書や選書の時間を確保することができた。 ・今年度の貸出等のデータを活用し、次年度以降の図書購入の際の参考資料とすることができた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校学力向上推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
6,741,000		6,741,000	0		0		100.0%	—
1 事業目的		主体的に学ぶ姿勢、基礎学力の定着により子どもたちの確かな学力と自立する力を育むことを目的とする。						
2 事業内容		中学校学習支援員の配置 個に応じたより細かな学習支援体制を確保し、わかる授業・伸ばす授業を実現するため、各校1名の学習支援員を配置し、基礎学力の定着、学習意欲の向上のための指導の充実を図った。 学習支援員 各校1名配置（計5名）						
3 成果		・一斉指導では理解に時間のかかる生徒に対しても、個に応じた細かな学習支援を行うことができた。基礎学力の定着につながり学習意欲の向上が図られた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	144～145
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校学校応援団支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
611, 000		494, 041	0		116, 959		80. 9%	—
1 事業目的		「学校応援団」にボランティアとして保護者や地域住民の参加を促し、学習支援、安全指導、環境整備などの活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成を推進する。						
2 事業内容		(1) 推進委員会及び担当者会議 ア 学校応援団推進委員会 1回実施 イ 学校応援団コーディネーター連絡会議 2回実施 ウ 県のコーディネーター研修会で使用された資料をコーディネーターへ配布し、情報提供を行った。 エ 各校の取組の情報交換を行い学校応援団の更なる充実のための研修会を行った。 (2) 新規ボランティア導入の推進 新規ボランティアの募集について、近隣市町の良い取組を推進委員会等で、学校応援団コーディネーター等へ情報提供を行った。 (3) 学校応援団活動の周知や新規ボランティアの募集 学校便り、学校のホームページや市の広報を活用して、情報発信を行った。						
3 成果		・学校応援団コーディネーターが中心となって、各学校で連絡協議会を開催し、学校が必要とする応援団業務について、事前の連絡調整等を行うことができた。環境整備だけでなく、授業補助の場面での応援事業を行っている学校もある。中学校の教育活動に関わる場面が増えつつあり、地域、保護者と学校の協力体制がより充実できた。						

(単位：円)

学校教育課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費
政策 4	人を育むまち		事業名		中学校国際性を育む教育推進事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率	
25,054,000	24,702,773	0		351,227	98.6%	—	
1	事業目的	市費英語教員や外国語指導助手を配置し、中学校英語教員の支援や小学校外国語活動の充実を図り、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目的とする。					
2	事業内容	(1) 外国語指導助手（ALT）の配置 英語の標準的な発音に慣れたり、外国の生活について興味関心を高めながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、外国語指導助手（ALT）を中学校に派遣した。 各中学校へALT 1名配置（南中学校のALTは、南小学校兼任） (2) 市費英語教員の配置 中学校英語教員の支援によって小学校外国語活動の充実を図り、小中一貫した外国語教育を進めるため、市費英語教員を中学校に配置した。 各中学校へ市費英語教員を1名配置 (3) 英語教員の指導力の向上に向けた研修会の開催 小中一貫外国語教育推進事業に係る外国語活動推進研修会 開催日 平成29年8月2日 講師 文教大学 教授 阿野 孝一 内容 講演「これからの外国語活動」 参加者 28人 (4) 英語教員の指導力の向上 グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、大学等外部専門機関と連携した効果的な研修を通して、英語教育に携わる者の英語によるコミュニケーション能力及び英語・外国語活動の指導力の向上を図った。 事前公開授業開催日 平成29年10月23日 参加人数 約20人 公開授業開催日 平成30年2月16日 参加人数 約50人 開催場所 南中学校 講師 東京家政大学 教授 太田 洋					
3	成果	・外国語指導助手を配置し、英語の授業では、ネイティブな英語を生徒に体感させることによって、正しい発音を身につける一助とすることができた。また研修会等を通して英語教育に対しての理解を深め、教科指導力の向上に努めた。					

(単位：円)

学校教育課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	146～147
政策 4	人を育むまち		事業名		がんばる部活動応援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
6,549,000		6,216,925	0		332,075		94.9%	—
1 事業目的		中学校部活動の地域行事への参加や大会で優秀な成績を収められるよう部活動の環境整備に必要とする物品を購入する。 また、関東大会等へ参加する生徒に対して一部補助することにより、生徒の負担を軽減するとともに高いレベルのスポーツ・文化に参加、触れる機会を与え、心身ともに健全な育成を図る。						
2 事業内容		(1) 備品購入 各中学校の吹奏楽部は、楽器を借用し活動しているため、借用楽器の解消を目的に借用楽器の購入を行った。 主な購入品 バリトンサクソフォン、ペダルティンパニー、フルート、トロンボーン、シロフォン、バスクラリネット、クラリネット他 (2) 中学校生徒各種校外活動参加補助金 補助金申請件数 13件 (関東大会 9件 全国大会 4件) 内訳 陸上 10件 水泳 2件 吹奏楽 1件						
3 成果		・借用楽器の解消を図り、活動に際して必要とする備品を購入し、更なる活躍につなげられるようにすることができた。 ・大会参加補助金では、市の代表として誇りを持ち大会に臨む生徒に対する負担の軽減が図れた。						

(単位：円)

教育センター		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	01	教育総務費	03	教育センター費	136～137
政策 4	人を育むまち		事業名		小中一貫教育推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
50,000		47,121	0		2,879		94.2%	—
1 事業目的		学校再編で目指す学校づくりの基本理念として、義務教育9年間を通して子どもたちを育てることを掲げ、教育委員会では、小・中学校9年間の学びと育ちの連続性を生かした特色ある教育を推進していく。そのために、小中学校が9年間を通じた教育課程を編成し、それに基づき行う系統的な小中一貫の教育が必要である						
2 事業内容		(1) 小中一貫教育推進研修会の実施（南小中合同研修会） 学力向上推進委員会と小中連携推進委員会の委員を対象として研修会を開催した。 ア 開催日 平成29年8月22日（10時から12時） イ 会場 大橋市民センター ウ 内容 「異学年学習の仕方について」 (2) 先進校視察（小中一貫教育推進モデル校） ア 視察日 平成29年11月20日 イ 視察校 神奈川県秦野市立北中学校 ウ 内容 小中一貫教育推進モデル校視察						
3 成果		・子どもの発達や学びの系統性を踏まえて小中一貫教育における「学び合い学習」について充実できた。						

(単位：円)

教育センター		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	01	教育総務費	03	教育センター費	136～139	
政策4	人を育むまち		事業名		学び合い学習推進事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
140,000		108,472		0		31,528		77.5%	—
1 事業目的		児童・生徒全体の学力を向上させるために、主に「活用する力（思考力、表現力等）の育成」を目指して、「学び合い」の学習を取り入れた授業改善を一層進めていく。							
2 事業内容		(1) 学び合い学習研修会 ア 開催日 平成29年6月16日 イ 会場 鶴ヶ島中学校 ウ 内容 学び合い学習研修会（鶴ヶ島中学校、第一小学校、長久保小学校） (2) 学び合い学習研究協力校授業研究会 ア 開催日 平成29年7月11日 イ 会場 鶴ヶ島第一小学校 ウ 内容 算数「角柱と円柱の体積」 (3) 学び合い学習研究協力校授業研究会 ア 開催日 平成29年9月4日 イ 会場 鶴ヶ島中学校 ウ 内容 社会科「現代社会の特色と私たち」							
3 成果		・児童・生徒全体の学力を向上させるために、主に「活用する力（思考力、表現力等）の育成」を目指して、「学び合い」の学習を取り入れた授業を推進することができた。							

(単位：円)

教育センター		一般会計																
		款		項		目		決算書頁										
		10	教育費	03	中学校費	03	中学校教育振興費	146～147										
政策 4	人を育むまち		事業名		運動部活動支援員活用事業													
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率									
1, 626, 000		1, 607, 700		0		18, 300		98. 9%	—									
1 事業目的		単独で指導・引率ができる「運動部活動支援員」を学校へ配置し、部活動指導を行うことによって、教職員の負担軽減を図る。 「運動部活動支援員」による専門的な技術指導を行うことで、部活動の充実・活性化を図る。																
2 事業内容		(1) 運動部活動支援員の配置 学校の指導方針に沿った部活動指導全般、大会・練習試合の引率を行った。 ア 運動部活動支援員 3人配置 (平成29年4月～平成30年2月) <table><tr><td>藤中学校</td><td>サッカー部</td><td>177日</td></tr><tr><td>富士見中学校</td><td>女子バスケットボール部</td><td>77日</td></tr><tr><td>南中学校</td><td>女子ソフトテニス部</td><td>50日</td></tr></table>								藤中学校	サッカー部	177日	富士見中学校	女子バスケットボール部	77日	南中学校	女子ソフトテニス部	50日
藤中学校	サッカー部	177日																
富士見中学校	女子バスケットボール部	77日																
南中学校	女子ソフトテニス部	50日																
3 成果		・運営上の成果 ①技術指導による技術、記録等の向上 ②指導による意欲の向上 ③生活指導によるマナーの向上 ④精神面での指導 ・単独での指導により、顧問教諭が他業務に従事することができた。																

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	148～149	
政策 4	人を育むまち		事業名		社会教育活動支援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
80,000		80,000		0		0		100.0%	—
1 事業目的		地域で子どもを支え育む活動を担う社会教育関係団体を支援することによって、地域の教育力の向上を図る。							
2 事業内容		(1) P T A連合会補助金 児童・生徒の健やかな成長を支えるため、市内小・中学校P T Aの連携・協調を図り、各種事業を行った。 ア 事業 情報交換会、研修会（家庭教育学級説明会、広報紙づくり講習会、スクールカウンセラーによる研修会「子どもの心のSOSとそのケア」）を実施した。 イ 会 議 常任理事会 ウ 会 場 市役所、西中学校 (2) 子ども会育成会連絡協議会補助金 子どもの社会生活に必要な特性を養い、健全育成に寄与するため各種事業を行った。 ア 事業 つるがしま郷土かるたの活用、インリーダー講習会、ジュニアリーダー養成事業等 イ 会 議 役員会 ウ 会 場 市役所、東市民センター他							
3 成 果		・研修会への参加により、役員のP T A活動への意欲向上を図った。また、情報交換会では、各校の活動内容を知るとともに交流の機会となった。 ・つるがしま郷土かるたの活用により、異年齢・異世代交流の機会を提供し、ふるさと意識の醸成を図った。また、インリーダー講習会、ジュニアリーダー養成事業により、子どもたちの知識・技能の習得を図った。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	05	社会教育費	01	社会教育総務費	148～149
政策 4	人を育むまち		事業名		つるがしま郷土かるた推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
50,000		50,000	0		0		100.0%	—
1 事業目的		ふるさと鶴ヶ島の自然や歴史、伝統文化の学習を通じて、子どもたちの郷土愛を育む。						
2 事業内容		(1) つるがしま郷土かるた体験 つるがしま鶴ヶ島かるたの活用を通じて、異年齢・異世代交流の機会を提供するとともにふるさと意識の醸成を図るため、かるた体験を実施した。 ア 会 場 市内小学校、子どもサロン、各種イベント (2) つるがしま郷土かるた大会 ふるさと鶴ヶ島の自然や歴史、伝統文化の学習及び異年齢・異世代交流の機会としてつるがしま郷土かるた大会を実施した。 ア 開催日 平成29年12月17日 イ 会 場 東市民センター (3) かるたの地めぐり 高倉地域の名所・旧跡等をめぐり、ふるさと意識の醸成を図る。 ア 開催日 平成29年8月9日 イ 会 場 高倉地域 (4) つるがしま郷土かるたに関する展示 つるがしま郷土かるたに関する展示を通じて、広くふるさと意識の醸成を図るため展示を実施した。 ア 会 場 市内小学校、子どもサロン、各種イベント						
3 成果		・つるがしま郷土かるた大会に33人が参加した。 ・年度を通じて、市内小学校3校のほか、子どもサロンで5回、各種イベントでかるた体験を6回実施した。 ・かるたの地めぐりに12人が参加した。 ・市内全小学校で通年実施し、市役所ロビーで1回実施した。						

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	05	社会教育費	02	図書館費	148～151	
政策 4	人を育むまち		事業名		図書館運営事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
172,515,000		172,268,902		0		246,098		99.9%	—
1 事業目的		図書館（中央図書館及び6分室）を指定管理者が管理運営し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を図る。							
2 事業内容		（1）図書館協議会運営経費 市民の参画と協働による図書館運営を進めるため、図書館協議会を開催した。 ア 第1回 平成29年7月27日 イ 第2回 平成30年2月14日 （2）図書館維持管理経費 図書館（中央図書館及び6分室）の管理運営を指定管理者に委託し、効率的な管理運営及び市民サービスの向上を図った。（指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日） また、老朽化した施設の修繕を行うとともに、中央図書館の適切な維持管理に努めた。							
3 成果		・図書館協議会を2回開催し、指定管理者による図書館運営等について審議を行った。 ・指定管理者による管理運営により、開館日数の増及び開館時間の延長とともに、若葉駅前カウンターに常駐スタッフを配置することにより、市民サービスの向上が図られた。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		10	教育費	05	社会教育費	03	文化財保護費	150～151
政策 4	人を育むまち		事業名		文化財保護保存事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率		
13,815,000	13,043,109	0	771,891		94.4%	—		
1 事業目的	市内指定文化財の保存保護、埋蔵文化財発掘調査及び文化財整理室の維持管理を行う。 高倉獅子舞保存会・脚折雨乞行事保存会の活動を支援する。							
2 事業内容	(1) 文化財保存保護経費 ア 地名「鶴ヶ島」発祥の地 脚折町一丁目地内 除草・松剪定業務 イ 川崎平右衛門陣屋跡 大字高倉地内 除草業務 (2) 埋蔵文化財発掘調査経費 ア 確認調査 国庫補助 17件 単 独 5件 イ 発掘調査 国庫補助 1件 (3) 高倉獅子舞保存会補助金 市指定無形文化財「高倉獅子舞」の実施に伴い、高倉獅子舞保存会に補助金を交付し、伝統行事の継承を支援した。 開催日 平成29年11月2日、3日 (4) 脚折雨乞行事保存会補助金 市指定無形文化財「脚折雨乞」の保存・継承のため、脚折雨乞行事保存会に補助金を交付し、伝統行事の継承を支援した。							
3 成果	・「地名『鶴ヶ島』発祥の地」、及び「川崎平右衛門陣屋跡」除草管理や「発祥地の松」の剪定等により維持保全を行った。 ・埋蔵文化財包蔵地内での開発等に伴う確認調査/発掘調査を実施した。2遺跡4地点の発掘の成果をまとめた埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行した。 ・高倉獅子舞の保存・継承を支援した。 ・脚折雨乞の保存・継承を支援した。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費	152～153	
政策 4	人を育むまち		事業名		市民スポーツ行事開催事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,500,000		2,500,000		0		0		100.0%	—
1 事業目的		各種関係団体との協働により、市民体育祭やつるがしま元気スポーツフェスティバルなどのイベントを開催し、市民スポーツの普及発展を図り、もって心身ともに健康な市民を育むまちづくりを目的とする。							
2 事業内容		(1) 市民体育祭開催事業補助金 2,000,000円 地域コミュニティの活性化と生涯スポーツの振興を図るため、NPO法人体育協会が主催する「市民体育祭」及び「陸上競技記録会」を支援した。 ア 市民体育祭 1,800,000円 開催日 平成29年10月8日 会 場 市内3会場（鶴ヶ島中学校、藤小学校、西中学校） イ 陸上競技記録会 200,000円 開催日 平成29年6月18日 会 場 川越運動公園陸上競技場 (2) スポーツフェスティバル開催事業補助金 500,000円 市民の健康増進と体力の向上を図ることを目的に、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる総合的なスポーツイベントとして「つるがしま元気スポーツフェスティバル」を開催した。 開催日 平成29年11月5日 会 場 運動公園							
3 成果		- 市民体育祭は、鶴ヶ島中学校3,267人、藤中学校4,216人、西中学校4,031人で、合計11,514人の参加があった。また、陸上競技記録会は、106人（延べ172人）の参加があった。 - スポーツフェスティバルは、健康マラソン、ステージコーナー、体験コーナーなど1,252人の参加があった。							

(単位：円)

生涯学習スポーツ課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費	152～153	
政策 4	人を育むまち		事業名		スポーツ推進団体支援事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
9,200,000		9,200,000		0		0		100.0%	—
1 事業目的		市内スポーツ団体の統括組織である体育協会に補助金を交付し、体育協会が主催・共催・後援する各種スポーツ・レクリエーション事業を通じて、市民スポーツの普及発展を図り、もって心身ともに健康な市民を育むまちづくりを目的とする。							
2 事業内容		(1) 体育協会補助金 9,200,000円 ア 一般補助（運営費補助金） 7,049,000円 イ 指定補助（事業費補助金） 2,151,000円 （ア）体育協会支部、スポーツ団体への助成金 （イ）スポーツ教室、講習会等事業費							
3 成果		・体育協会の法人化により、市職員による運営支援を縮小し、体育協会が自ら事務局運営やスポーツ振興事業などの企画を主体的に行い、スポーツ分野における公共の領域を担い始めるなど、大きな成果があった。							

(単位：円)

海洋センター		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		10	教育費	06	保健体育費	03	体育施設費	154～155	
政策 4	人を育むまち			事業名		海洋センター運営事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
30,567,000		30,306,616		0		260,384		99.1%	—
1 事業目的		身近なスポーツ施設としての機能を保つため、適切な維持管理を行う。 また、海洋センター業務の一部を委託することにより、柔軟で効率的な施設の運営を行い、利用者サービスの向上を図るとともに、民間活力の活用を進め、費用対効果の高い施設運営を図る。							
2 事業内容		(1) 海洋センター事務経費 海洋センターの運営に必要な事務経費 (2) 海洋センター維持管理経費 海洋センター窓口等業務をNPO法人体育協会に委託し、効率的な施設運営及び利用者サービスの向上を図った。 また、老朽化した施設の修繕を行うとともに、施設の適切な維持管理に努めた。							
3 成果		・身近なスポーツ施設としての機能を維持し、市民に安全なスポーツ活動の場を提供した。 ・海洋センター業務の一部を体育協会に委託することにより、費用対効果の高い施設運営を図ることができた。							